



～南九州市茶業振興会知覧支部～

県医師会と市内施設に新茶贈呈！



5月12日、南九州市茶業振興会では、各工場のお茶を持ち寄りブレンドした知覧茶を市内39カ所の施設と鹿児島県医師会へ贈呈しました。

今回の贈呈は、お茶に興味を持つきっかけになってほしいという願いを込めています。贈呈された塗木市長は「一緒に茶業を盛り上げていきましょう」と述べました。

～南九州市茶業振興会～

新茶お披露目会



八十八夜となる5月2日に「新茶お披露目会」をオンラインにて配信しました。タノカミステーションを会場に、志布志市、霧島市と中継を結び、お茶の楽しみ方を全国のお茶好きの方々に配信しました。

申し込みのあった479人の方々には、知覧茶の新茶を事前に送付しており、配信中にお茶の入れ方を一緒に学ぶことができました。「美味しく入れられた」「新茶を買いたい」などのコメントもあり、今年の香り豊かな新茶を楽しんでいただけたことでしょうか。

～谷場みどり八日会～

美味しい新茶を味わって！



頰娃地域の谷場自治会で良質なお茶づくりに向けた技術研修などを目的に活動している同会が市内の学校、福祉施設、官公庁など18カ所に新茶の贈呈を行いました。

お茶の美味しさや魅力を知ってもらおうと毎年、会員のお茶を集めて行っている活動です。市役所に贈呈されたお茶は頰娃支所の給茶機に使用しています。

～さつまいも(えいもちゃん)の初荷出荷式～

頰娃の「さつまいも」神社で祈願



5月31日、令和4年産超早掘り青果用さつまいも「えいもちゃん」の順調な生育と高値取引を願い、釜蓋神社で初荷出荷式を行いました。勝負をかけるという決意を込め、同神社に今年掘り取ったばかりのイモを奉納しました。尾曲幸専門部会長は「サツマイモ基腐病の発生が続いているが、品質面での影響は見られない。安全・安心なさつまいもを消費地へ届けられることをうれしく思う」と述べました。



～颯娃小学校出前授業～

海について学んだよ！



5月14日、颯娃小学校で、鹿児島水産高校の先生方による出前授業が開催されました。

授業は、消臭カップ作成・シェルマグ作成・ダイビング学習・ドローン操縦体験の4種類で、各学年の発達段階に応じた異なる内容を学習しました。児童・颯娃幼稚園の園児らは真剣なまなざしで先生方の話を聞き、海洋資源について再度考える機会になりました。

～「観光」×「しごと」の連動～

379 WORK TERMINAL PACBO (ミナキューワークターミナルパクボ)がオープン



5月20日、知覧町郡の知覧平和公園内にあるレストラン跡地をリノベーションし、カフェやワークスペースなどの機能を持った複合施設「379 WORK TERMINAL PACBO」がオープンしました。

この施設は、市民や観光客はもとより、観光を通して全国の事業者を活用してもらおうとともに、市民のテレワーク人材育成などを行い新たなビジネスを創出する拠点となることが期待されています。

～民生委員・児童委員の取り組み～

地域福祉の充実に向けて



「民生委員・児童委員の日」の5月12日、川辺、知覧地域では、登校時間に合わせて各小中学校生へのあいさつ運動を行い、子どもたちと元気なあいさつを交わしました。颯娃地域でも、あいさつ運動をはじめ地区公民館の美化作業や高齢者施設の車椅子点検などの活動を行いました。

民生委員は、普段から地域住民の見守り活動をはじめ、児童や高齢者等に関する相談支援など地域福祉の充実に向けてさまざまな活動を行っています。

～南九州市戦没者追悼式～

恒久平和を願って



5月20日、南九州市戦没者追悼式が川辺文化会館で行われました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時間を短縮し遺族会代表者など関係者のみの出席で開催されました。市長が式辞を述べ、引き続き川辺町遺族会会長の中迎博美さんが「追悼のことば」をささげました。その後、参加者全員が献花を行い、戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、恒久平和の誓いを新たにしました。